

機械器具 78 家庭用電気治療器
指定管理医療機器 家庭用電位治療器 JMDN コード 70987000

メドフォース 14000

【禁忌・禁止】

1. 次のような人には使用しないで下さい。
 - ・心臓病と診断され、日常の過激な運動を制限されている人
 - ・子供(ただし、保護者の監督下で使用する場合は除く)
2. 次の医用機器との併用は、機器に誤作動をまねく恐れがありますので使用しないで下さい。
 - ・ペースメーカー、植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器
 - ・心電計などの装着形の医用電気機器
3. その他
 - ・治療器は改造しないで下さい

【形状、構造等及び原理】

外観写真



- (1) 構成
 - ①本体
 - ②通電シート(全身治療用)
 - ③電子ペン(局所用導子)
 - ④絶縁シート
 - ⑤検電器
 - ⑥リモコン
 - ⑦接続ケーブル
 - ⑧電源コード
 - ⑨予備ヒューズ(2個)
 - ⑩コードリフター(5個)

(2) 動作原理

本装置は、商用電源 100V から変圧器により交流 800V $\sim$ 14000V_p に昇圧させた高電位を導子により人体に導き、大地に対し人体を高電位に保ち、電界内に人体を置くことにより治療を行うものです。(V_p=波高値)

(3) 仕様

- ・定格電圧: AC100V 50/60Hz
- ・定格消費電力: 16W

【使用目的又は効果】

頭痛、肩こり、不眠症及び慢性便秘の緩解
一般家庭で使用する。

【使用方法等】

操作方法の詳細は必ず取扱説明書を参照してください

1. 使用前準備

- (1) 本体が倒れることのない水平な場所に置いて下さい。
- (2) 治療器本体及び附属品に異常がないことを確認して下さい。
- (3) 電源コードおよび電源コードのアースを正しく接続して下さい
- (4) 治療内容に適した付属品を本体に接続して下さい。

①通電シートの場合

1)椅子に座って使用する場合

- a)椅子の下に絶縁シートを敷いてください。
- b)椅子に通電シートを置いて下さい。
- c)接続ケーブルをシート高圧出力口の奥まで完全に差し込んで下さい。
- d)接続ケーブルと通電シートから出ているケーブルをつないで下さい。

2)床や畳などに座るか、横になりながら使用する場合

- a)絶縁シートを広げ、その上に通電シートを置いて下さい。
- b)接続ケーブルをシート高圧出力口の奥まで完全に差し込んで下さい。
- c)接続ケーブルと通電シートから出ているケーブルをつないで下さい。

②電子ペンの場合

- 1)椅子の下に絶縁シートを敷いて下さい。
- 2)電子ペンのケーブルをペン低圧出力口の奥まで完全に差し込むんで下さい。

2. 使用中

- (1) 本体背面の主電源スイッチを ON にして下さい。

- (2) 電源ボタンを入れます。表示部が点灯します。

(3) シート治療の場合

①シートボタンを選択します。

この時、シートボタンを押すたびに治療電圧が変化します。治療したい電圧の LED が点灯するまで繰り返し押します。

②波形ボタンを選択します。

この時、波形ボタンを押すたびに治療電圧が変化します。治療したい波形の LED が点灯するまで繰り返し押します。

③タイマーボタンを選択します。

この時、タイマーボタンを押すたびに治療時間が変化します。治療したい時間が表示されるまで繰り返し押します。

④最後に通電ボタンを押すとシートの治療が開始されます。

治療中は、本体前面の通電ランプが青く点灯します。

必ず取扱説明書を参照してください

(4) ペン治療の場合

①ペンボタンを選択します。

この時、ペンボタンを押すたびに治療電圧が変化します。治療したい電圧の LED が点灯するまで繰り返し押します。

②波形はペン治療の場合、波形 1 固定です

③タイマーボタンを選択します。

この時、タイマーボタンを押すたびに治療時間が変化します。

治療したい時間が表示されるまで繰り返し押します。

④最後に通電ボタンを押すとペンの治療が開始されます。

治療中は、本体前面の通電ランプが青く点灯します。

(5) 治療を途中で中断したい場合には、通電ボタンを押すと治療を一時停止します。治療を再開する場合には、もう一度通電ボタンを押します。

(6) 治療が終了すると、治療終了のブザーでお知らせし、自動的に電源が切れます。

(7) 検電器の使用について

検電器を使用して通電シートに治療電圧が出力されているかを確認することが出来ます。

①検電器の側面スイッチを ON にします。

②絶縁シートの外から通電シートへ検電器を近づけるとランプが点灯し、電子音がでます。

ランプや電子音が作動することで高圧電界が正常に形成されていることを確認できます。

3. 使用後

(1) 治療終了後は、本体及び導子等は次回の使用に支障がないように清浄にし、整理保管して下さい。

4. その他

(1) リモコンの操作方法は本体の操作、パネルスイッチの操作方法と同じです。

(2) 設定途中で治療方法を変更する場合は、一度、電源ボタンを押し、もう一度初めからやり直してください。

(3) 設定中にボタンを押したときブザーがピッピッと 2 回鳴った場合は、設定できないボタンを押していることをお知らせしています。

(4) 次回のスタート時には、最終治療の内容が表示されます。特に設定を変える必要がなければ通電ボタンを押して治療を開始します。

【使用上の注意】

使用上の注意の詳細は、必ず取扱説明書を参照して下さい。

1. 次のような人は必ず医師に相談の上、ご使用ください。

〔(9) ～ (12) は 1 時間を超えて使用する場合〕

(1) 悪性腫瘍のある人

(2) 心臓に障害のある人

(3) 妊娠初期の不安定期または出産直後の人

(4) 糖尿病などによる高度な末しょう（梢）循環障害による知覚障害のある人

(5) 体温 38℃以上（有熱期）の人

例 1 急性炎症症状〔けん（倦）怠感、悪寒、血圧変動など〕の強い時期

例 2 衰弱している人

(6) 安静を必要とする人

(7) せきつい（脊椎）の骨折、ねんざ（捻挫）、肉離れの急性〔とう（疼）痛性〕疾患の方

(8) 医師の治療を受けている方や、特に身体の異常を感じている方

(9) 高血圧の人

(10) 不整脈のある人

(11) 睡眠時無呼吸症の人

(12) 喘息の人

2. 身体に合った治療をして下さい

しばらく使用しても、効果が認められない場合は、医師または専門家にご相談ください。

3. 使用前の注意

(1) 使用場所や状況について

①他の治療器と併用しないで下さい。

②通電シート・絶縁シート・電子ペンは濡れた状態で使用しないで下さい。

③以下のような場所では設置或使用はしないで下さい。

・高温・多湿の場所

・湿気・ほこりの多い場所

・油煙・湯気のあたる場所

・熱器具の近くや直射日光のあたる場所

・情報機器やテレビ・音響機器に近い場所

・不安定な場所

・振動の強い場所

・極端に低温になるところ

・急激な温度変化のある場所

④金属製の椅子は使用しないで下さい

(2) 電源コードのアース端子を正しく接続して下さい。

(3) 全てのコードが正しく確実に接続されていることを確認して下さい。

(4) スイッチ、タイマーなどが正常に作動するか確認して下さい。

(5) しばらく使用しなかった機器を使用する時は、前各号に準じるほか、機器が正常かつ安全に作動することを確認して下さい。

(6) 通電シートまたは電子ペンは正しく接続して下さい。

(7) シート高圧出力口またはペン低出力口のいずれか一方のみ使用して下さい。その際、使用していない片側のコードは必ず外してから、通電治療を行って下さい。

4. 使用中の注意

(1) 通電中は他の人に触れたり、触れさせないように、また周囲にある金属物に触れないようにして下さい。

(2) 機器に故障を発見した場合は、使用を直ちに中止し、主電源スイッチを切して下さい。

(3) 身体に異常を感じた時は、使用を直ちに中止して下さい。

(4) 停電の時は、直ちに電源を切り、使用中止して下さい。主電源スイッチを切して下さい。

(5) 電子ペンは必ず使用者自身が持って治療を行って下さい。他の人による治療はしないで下さい。

- (6) 導子を金属に接触させないで下さい。
- (7) 導子は頭部又は皮膚疾患部には接触させないで下さい。
- (8) 複数の人で同時に使用しないで下さい。
- (9) 金属繊維などの導電性物質を含む布団とともに使用しないで下さい。
- (10) 付属品とコード類について
 - ①通電シートを利用する際には、以下の事に注意して、正しく使用して下さい。
 - 1) 通電シートは畳んだ状態で使用しないで下さい。
 - 2) 通電シート使用時は、ペン低圧出力口には、何も接続しないで下さい。
 - ②電子ペンを利用する際には、以下の事に注意して、正しく使用して下さい。
 - 1) 電子ペン使用時は、シート高圧出力口には、何も接続しないで下さい。

5.使用後の注意

- (1) 使用後は、必ず主電源スイッチを切って、高圧出力口より接続ケーブルを抜いて下さい。
- (2) コード類を取り外す時は、コードを持って引き抜くなどしてコードの接続部に無理な力をかけないで下さい。
- (3) リモコン及び検電器には電池が内蔵されています。消耗した場合には、同一仕様の電池に交換して下さい。

6.相互作用

- (1) 併用禁忌（併用しないこと）
 - ①ペースメーカー、植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器
 - ②心電計などの装着形の医用電気機器
 - ③他の治療器とは同時に使用しないで下さい。

【保管方法及び有効期限等】

- (1) 本体・付属品などは、次回の使用に支障のないように清浄し、湿気の少ない所に整理・保管して下さい。
- (2) 3か月以上使用しない場合は、リモコン及び検電器の電池は取り外して下さい。
- (3) 長時間使用しない場合には、電源コードをコンセントから抜いておき、リモコン及び検電器の電池は外して下さい。

【取扱い上の注意】

- (1) 機器及び付属品等を廃棄するときは、環境への影響を少なくするため、地域で定められている規則に従って処分して下さい。

【保守・点検に係る事項】

1.日常点検

- (1) 治療器及び付属品は、使用に際し必ず正しく作動することの点検をして下さい。

2.清掃

- (1) お手入れ前には必ず主電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- (2) 体に触れる通電シート、電子ペン等は常に清潔にし、汚れた場合、下記の方法でお手入れして下さい

- ①プラスチックが多く使われているので、ベンジン、シンナーなどは使用しないで下さい。
- ②汚れは柔らかい布で軽くふき取って下さい。
- ③ひどく汚れた時は、中性洗剤を水で薄めた液に布を浸し、固く絞って拭き取り、さらに乾いた布で仕上げて下さい。
- ④科学ぞうきんを使用する場合には、その注意書きに従って下さい。

3.その他

- (1) 故障した場合は、勝手にいじらず、販売店または製造販売元に連絡して下さい。
- (2) 機器は改造しないで下さい

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：フォースエンジニアリング株式会社

住所：〒321-0903

栃木県宇都宮市下平出町 1576-2

電話：028-663-2408

製造業者：製造販売業者に同じ